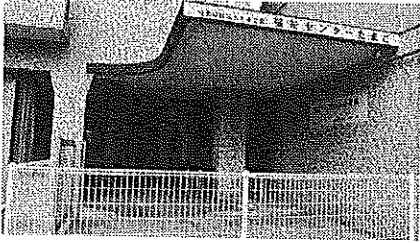


只今後援会会員
315名
(目標1000名)

みんなであゆみ

あゆみ後援会通信
VOL. 45
2016年11月25日発行
〒977-0051
福島県会津若松市中央1-7-1
あゆみ保育園内
〒977-0051
Eメール: machi@ayumi.or.jp
HP: http://business4y.ac.jp/ayumi/index.html



移転先のリフォームが完成! たくさんのカンパありがとうございました!

6月から始まった新しい「あゆみ」の内装工事は11月末終了します。そして12月5日(土)に引っ越しの運びとなりました。
後援会をはじめたくさんの方々から寄付を頂き、ありがとうございました。みなさまのご支援ご協力で心より感謝申し上げます。
11月現在 161件 4,329,150円の寄付を頂いております。

建物全体の名称は「福祉センターたまご」となります。ついでに12月20日(日)別紙ご案内にありますよう、もちつき会とあわせて見学会を開催いたします。
みなさま、新しくなった「あゆみ」を是非見学においでください。

内装工事は完成しましたが、まだまだ手直ししたいところ、購入したい備品などあります。引き続きカンパを呼びかけます。よろしくお願ひいたします。



「黒瀧山に登ったよ!」 11月5日 年長 くじらぐみ

呉駅から忠海駅まで、呉線を広駅で乗り継いで1時間20分くらいかかります。以前は直通便があり1時間でいけたし、本数も減ったなあ〜と思いながら、それでも黒瀧山の景色の良さ美しさに引かれて、年長児が毎年登っています。
登る途中で下を見ると駅や家々が箱庭のように見え、瀬戸内海の島々、行きかう船、美しい橋、子どもたちは「わあ〜、すごい!ヤッホー!」と何度も大きな声をあげて感動体験をしました。また、登り道の山の岩肌に観音様が何体も彫られていたり、山頂には鐘つき堂もあり信仰の山であることが伺えます。一番興味を引いたのが「幸せの鳥居」という人ひとり腹ばいになってやっつくぐれる小さな鳥居です。「何か願い事をしながらくぐると願いが叶うんだって」と聞き、「平和になりますように」「河童おやじの手紙がありますように」と願ひながら順々にくぐりました。



しかし、困ることをあきらめて黙っていても改善されない、行政に対して現場の声をしっかりと伝え続けることが大切ということを確認し合いました。

また、保育にかかる費用が公定価格と呼ばれるようになりましたが、今年度から保育料を決める基準が所得税から市町村民税に変わり、前年より3万円も高くなった家庭もあり、とても生活できないという声も出ています。
また、保育にかかる費用が公定価格と呼ばれるようになりましたが、今年度から保育料を決める基準が所得税から市町村民税に変わり、前年より3万円も高くなった家庭もあり、とても生活できないという声も出ています。

●参加報告
2016年度の全国合研が島根開催となり、ブレ合研の意味もあり今年度は中国5県合研が行われました。あゆみ保育園からも5名参加し、全体で目標の800名を超える参加があり大成功でした。
保育の新制度が4月からスタートしましたが、各地でいろいろな問題が起きてきているという報告がありました。この度の制度改正で一番大きな変化が、保育の必要時間によって、標準認定と短時間認定に分けられることです。保護者の就労が入所理由の場合、1カ月あたりの就労時間が120時間以上で1日11時間までの利用が可能ですが、1カ月の就労時間が48時間から119時間までの場合は1日8時間までの保育となります。短時間の場合、電波時計を購入して1分でも遅れたら延長保育料を請求している所、していない所とあり、現場は大変なようです。

第3回
中国5県
保育団体合同研究集会「島根」
10月30日〜11月1日

保護者会主催子育て講演会

11月8日

「子どもの心を豊かに育む絵本」

元広島市公立保育園園長

元広島市北部療育センター園長

栗栖小枝子先生

●講演会報告

人生で大切なことは、いろんなことを感じ分ける力だと思えます。今の子どもたちは情報過多の大変な時代を生きています。絵本の世界から素直に子ども時代にか感じられないものを感じ、大人になっても忘れない、心に体にしみこんでいくものとなります。

絵本は勉強のためでも賢くなるための物でもなく、自然を深く見つめる力や困難に直面したときにパネとなる生きる力を得て人生を豊かにするものです。その力は乳幼児期から小学校低学年までで育つものであり、保育園ではみんなと一緒に見ることにより、共通の話題ができたことにより、共感や心の響き合いが生まれてきます。

小学校3年生くらいまでは、毎日絵本を読んであげてください。皆さん、食事は一日に三度作って食べさせますね。絵本を読むことを四度目の食事だと思ってください。食事のように作る手間はかかりません。10分のできることですよ。(ここが、どのお母さんにも心に響いたところだったようです)

栗栖先生が絵本を読んで聞かせて下さり、お母さんたちも心がほっこりしてきたと言われていました。この夜は、参加者皆さん、子どもたちに絵本を読まれたそうです。



●あゆみのれんらく会

芋ほり 「おおきなお芋になったかな」

11月10日

春に植えたお芋の苗。毎年内神町の畑をあゆみ保育園OBの方が貸して下さり、収穫までお世話してくださっています。今年も、全園児でお芋ほりにいきました。まだしっかり歩けない子はバギーに乗って参加します。小さいクラスは大きいクラスの子どもたちが、手を引いて畑までの坂道を登ります。

畑の上に出ているのは緑のつるで、お芋は土の中。スコップで掘ったり、よいしょと引っ張ったり、全員が大小さまざまのお芋を掘ることができました。みんな笑顔いっぱい。

各クラスともお芋ほりの共同画を作りましたので、紹介します。



2才児クラス作品



1才児クラス作品



山頂で記念写真をパチリ



鬼の前でパチリ

●休山登山 (年中・年長クラス)

11月16日

宮原5丁目までバスで行き、そこから山頂を目指します。車道や舗装された道は通らずに獣道のような道なき道を木の枝をかき分けながら登ります。足元には落ち葉があり滑りそう。しかし、普段から歩く活動をたっぷりしている子どもたちはしっかりと足を踏ん張り、長い登り道を2時間くらいかけて元気いっぱい歩き切りました。帰りは、別コースでバスを使わず保育園まで歩きました。下山途中、大きな鬼の像があり記念撮影。この日のために、何人ものお父さんお母さんが休みをとって引率に協力してくれました。皆さん、子どもたちの脚力に驚かされていました。

「あゆみと私」

正賢 絵理子

今春、息子があゆみを卒園し、横浜に転居して小学校に入學しました。娘は、こりすくらしいおん組まで、あゆみでお世話になり、この春、年少児で横浜の幼稚園へ入園しました。子供達は、新しい環境に馴染んで楽しく生活しているので安心していますが、母親の私の本音は、「娘を、せめて年長の1年間だけでも、あゆみに行かせたい、卒園させたい。」です。1、2年で転動があるので、主人の呉勤務の再来を熱望して、またいつか、あゆみにお世話になれることを夢見しています。

あゆみとの出会いは、「外遊び、遠出散歩を沢山させた」という想いからでした。当時、育休中だった私は、一時保育のある保育園をいくつか見学しましたが、なかなか納得できる場所が無く悩んでいた矢先、見つけた保育園でした。入園して運動会や卒園式等、色々な行事を経験するにつれ、あゆみの素晴らしい心動かされました。リズム、高い竹馬、竹踊り、荒馬などは、私も子供の頃(千葉の)保育園でやっていました。自分の子供にも経験させられて、とても嬉しかったです。そして、ぞうりやしやコンサートや、絵本の世界を体験しながらの運動会やキャンプ、生活発表会は、本当に素晴らしいと思います。また、私も二度、一緒に登らせて頂いた休山登山は、本当に、あゆみでの日々の体作りの集大成だと思います。子供たちの体と心の逞しさに感心しました。「体のバランスは、心のバランス」など、先生から教えて頂いた、心に響く忘れられない言葉がたくさんあります。

基本的な生活習慣や友達への思いに気づくこと等、大切なことは、全てあゆみで教えてもらいました。息子は、6年近くあゆみでお世話になったので、日々色々なことをあゆみで学んできて、「もう、そんなことができるのか。」と親は何もしなくても、あゆみでの成長に感心していましたが、4歳になった娘は、まだ箸をきちんと持つことができません、食べ物の好き嫌いもあり、家庭でやらなければならぬのですが、幼稚園に行つて、改めて、今まで、あゆみが家庭での躾や生活習慣を代わりにやって下さっていたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。親として、まだまだ未熟な私ですが、あゆみで教えてもらったことを思い出しながら、子供に向かい合おうと努力する日々です。あゆみで素晴らしい先生方や保護者の皆さんに恵まれ、支えて頂きお世話になったことに、心から感謝してやみません。遠く横浜の地について、「今頃あゆみは二河峡で芋煮会かな？」等、年間行事がふと頭をよぎります。これから新しい場所での新たな道を歩み出すあゆみ保育園を、遠くから応援しています。